

公益社団法人名古屋中法人会 新栄支部 地域社会貢献事業

平家物語鑑賞会

『平家物語』の冒頭「祇園精舎」と、
扇の的の名場面「那須与一」を、
琵琶の弾き語りで演奏する伝統芸能です。

日時

平成24年12月3日(月)午後6時15分開演

場所

中日パレス(中日ビル5F)

出演

今井検校勉

〔曲名〕

○祇園精舎 ○那須与一

解説

林 和利 (名古屋女子大学教授)

平清盛を中心とする平家の栄華と没落を描いた軍記文学の最高峰平家物語。
その語り本は、琵琶法師によって琵琶を弾きながら語られた。それを平曲とよぶ。

主催：公益社団法人名古屋中法人会

問い合わせ先：名古屋中法人会 名古屋市中区栄4-3-26 昭和ビル3F TEL 052-242-9427

平曲とは

『平家物語』の語りは「平曲」、「平家」、「平家琵琶」などと呼ばれ、室町時代に成立したといわれる。声明や雅楽に由来する旋律が用いられ、声域の高低や節回しの長短を組み合わせる。

使用する琵琶は「平家琵琶」と称し、四絃五柱で、旋律形式や音高が変わるときに短く弾く。

『平家物語』を伝承・演誦してきたのは、盲目の職業人である琵琶法師であった。彼等は、職業生活を確保するために「当道座」を結成し、江戸時代には、式目により検校・別当・勾当・座頭という階級を表す四官ができた。

伝承責任者の最高位である検校は、寺社の造営、修復や社会基盤整備の費用を募る「勸進平家」や、徳川幕府の法要「法華頓写」の式楽で語ったりした。

当時は、晴眼者である藩主やその側近をはじめ茶人や歌人も教養として学んだ。

明治になり、徳川幕府より公的に保護されていた当道座は廃止され、困難な時代を迎えたが、名古屋では箏曲家を中心に「国風音楽会」が設立され、日本音楽の基本として、盲人による「平曲」の伝授が守られた。現在は、今井検校勉が唯一の盲人伝承者である。

《演者紹介》

「平曲」唯一の盲目伝承者 今井検校勉



平家琵琶検校
生田流箏曲・三弦・胡弓教授
財団法人国風音楽会会長

- 昭和33年1月14日 江南市で誕生。
- 昭和37年10月 4歳で司業横井みつゑ師に入門し、琴・三弦・胡弓を習う。
- 昭和45年2月 12歳で三品検校正保に師事し、平曲・琴・三弦を学ぶ。
- 昭和52年3月 愛知県立名古屋盲学校高等部普通科卒業。
- 昭和60年2月 土居崎検校正富に師事し、平曲・琴・三弦を学ぶ。
- 昭和61年3月 (財)国風音楽会より勾当の官を受ける。
- 平成4年3月 (財)国風音楽会より検校の官を受ける。
- 平成8年4月 (財)国風音楽会会長に就任。
- 平成11年2月 名古屋市芸術奨励賞を受賞。

最近の主な平曲演奏歴

- 平成12年2月 NHKの芸術花舞台。
- 平成12年2月 パリの平家物語の世界展、ケルンの平曲鑑賞会。
- 平成13年5月 大阪国立文楽劇場の邦楽鑑賞会。
- 平成13年7月 メルボルン大学の国際語り物研究会世界大会。
- 平成14年10月 東京国立劇場の琵琶の会。

とき・ところ

2012年12月3日(月) 中日パレス (中日ビル5F)

- 地下街より中日ビルの地下B2エレベーターをご利用下さい。
- 名古屋高速東新町出口から南へ約10分。

鑑賞会 ▶ 18時15分～19時30分
情報交換会 ▶ 19時40分～21時00分



お申し込み

FAX 052-242-9429

●演奏会 — 無料 ●情報交換会 — 5,000円

※お申込みは先着順に受け付けます。定員になり次第締め切らせていただきます。

※演奏会にお申込みの方には参加票を、情報交換会にもお申込みの方にはあわせて振込用紙をお送りいたします。

下記にご記入の上、送信してください。 ※締切日 11月21日(水)

ご住所			
電話番号		FAX番号	
貴社名			
演奏会参加氏名		情報交換会参加氏名	報告会参加氏名